

高岡市小中義務教育学校 体育館管理マニュアル

高岡市教育委員会

令和2年度 発行

【目次】

1. 基本指針
2. 保護管理
3. 補修管理
4. 日常清掃
5. 特別清掃
6. 適切な清掃道具

1. 基本指針

(1) 正しい体育館の使用

スポーツに集中し、楽しめる環境を作る

(2) 水分・土砂を持ち込まない

最も体育館フロアを傷める要因となる

(3) 損傷の早期発見

利用者全員が日々安全点検を行い、異常を発見した場合は速やかに対応する

(4) 適切な清掃の実施（水拭き及びワックスの禁止）

衛生的な体育館フロアを維持し、老朽化や損傷を防ぐ

2. 保護管理

(1) 体育館専用シューズの使用

細かい砂や砂利は木床にダメージを与える。土足禁止かつ**ノンマーキングの靴底のもの**を使用し、靴底の黒いものは使用しない。※中学校においては室内シューズとは別に体育館専用のもの利用することが望ましい。

(2) 足ふきマットの設置

毛足の長い大型のマットを体育館出入口に設置し、フロア内に入る際は、服やシューズの砂やホコリを落とす。水分や土砂の持ち込みを防ぎ、廊下のワックスを除去する。

(3) スクイズボトル、ペットボトルの直置き禁止

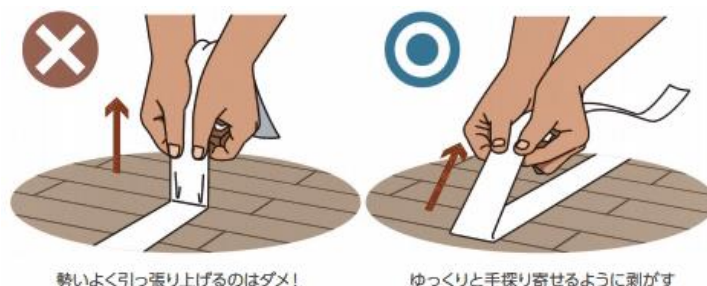
水分補給は、原則体育館のフロア外で行い、やむをえずフロア内で行う場合は、防水マットや水筒、カバーを利用する等、水分をフロアに帯水させないように配慮する。

(4) フロアを傷つけない

ネット支柱を立てる際は2人以上で作業し、フロア面を傷めない。体育館内で使用する備品、机、椅子等はフェルトや布等柔らかいカバーで保護する。※フロアシート使用の場合は必要ありません。

(5) ラインテープの利用

専用のラインテープを使用する。ガムテープなど粘着力の強いものは使用しない。テープを剥がす際は、手元に手繰り寄せるように剥がす。上に引っ張り上げながら剥がすことはしない。貼り放しにしない。



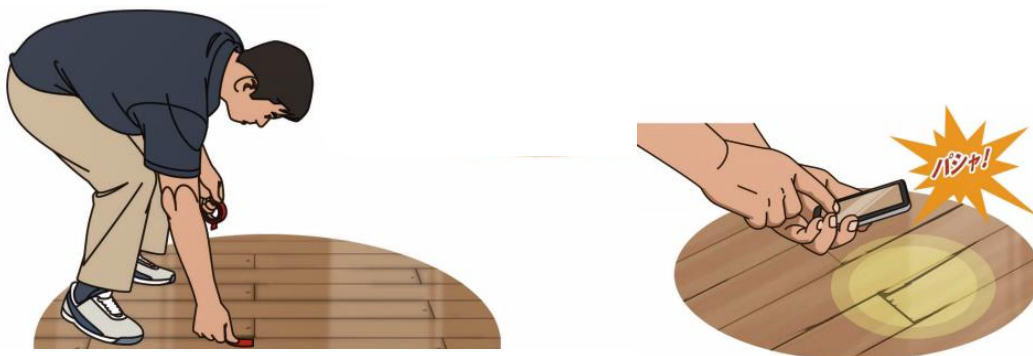
3. 補修管理

(1) 床塗面の点検および対処法

危険箇所をみつけたときは利用を停止し、テープを貼る等、一目でわかるように不具合箇所のマーキングと記録を行う。必要に応じて施設管理者に早急に連絡する。

点検箇所	点検方法	対応
艶がない	目視	清潔なモップでコンディショナー等を利用しモッピングする。
塗膜の劣化やキズがあるか	目視・床板の点検	・ワックスを塗布していないフロア ウレタン塗装を業者に依頼する。(2～4 年毎) ※ワックスかけ厳禁 ・ワックスを塗布したフロア 日常清掃の徹底。コンディショナー等を利用しモッピングする。
ささくれ部分があるか	目視、モッピング で行い引っかかり を確認	瞬間接着剤で接着し、ササクレの先端部分はカッターナイフやサンドペーパーで擦って応急処置を施す。損傷箇所を養生テープでしっかりとテーピングを行い周知できるように処置し、業者(教育総務課)に連絡する。
キズ・割れ・反り・浮き・ 目違い木栓(ダボ)の浮き・ 抜けがあるか	目視	養生テープでテーピングし、注意喚起する。使用に差支えある程度(ひっかかりやつまずき)の場合は、業者(教育総務課)に連絡する。
床鳴り・ゆりみ・たわみ部分があるか	フロア内を歩く	養生テープでテーピングし、周知する。
体育器具(支柱など)のぐらつき	動かしてみる	スポーツ店に連絡し、器具を交換する。

参照「一般社団法人日本フローリング協会体育館床メンテナンス Q&A」



(2) ワックスがけの原則禁止

・ワックスがけが禁止される理由

ワックス剤、剥離剤には多量の水分が含まれており、木床の変形やささくれ等、傷害発生の原因となっている。剥離作業ができないことから、ホコリの上から溶剤をかぶせるだけになり、汚れが蓄積する。結果、不衛生かつ滑りやすい、スポーツに適さないフロアになる。また、適切な状態に戻し管理を行うためには研磨作業が必要となり、維持管理費が増加する。

・望まれる管理

清潔なモップでの保護管理と日常清掃を徹底し、ホコリ・滑り止め剤等のウレタン塗装に影響のない溶剤を適宜使用する。

4. 日常清掃

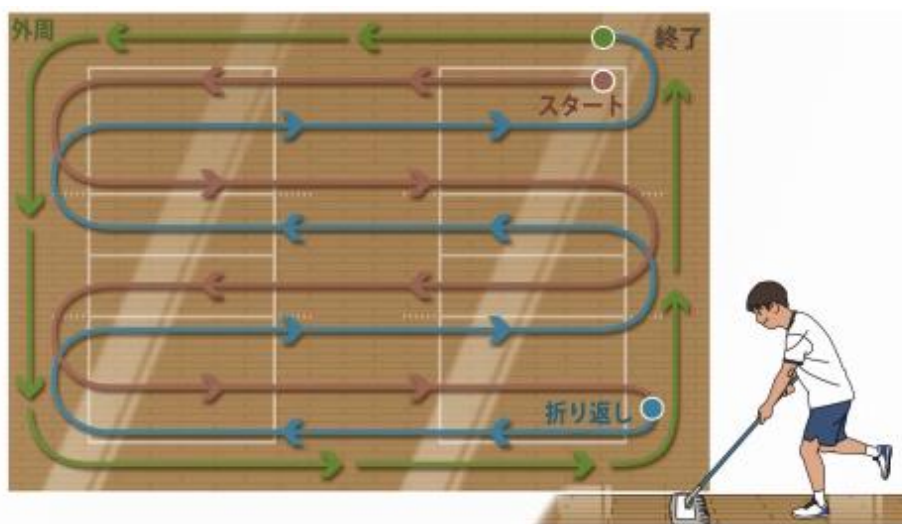
(1) 使用前と使用後のモップがけ

使用前の、ホコリ（飛沫を含む）が舞い上がる前のモップがけが効果的。ゴミやホコリを取り除きながら、ひっかかり等がないか、あるいは目視によりフロアの不具合を確認する。

使用後も欠かさずモップがけを行い、使用中の汗や汚れを素早くふき取る。必要に応じてホコリ・滑り止め剤を利用する。

(2) モップがけの方法

乾いた専用のモップで、長手方向（板目の長い方）にモップがけを行う。縦方向に往復しながら、繰り返しモップをかける。最後に外周部を回り、ゴミやホコリをすべて除去する。複数人で行い、横一列に並ばず階段状に進み、先の人から漏れたホコリを集めながらモップをかける。モップ使用後は、モップのホコリをたたくか掃除機で吸い取り、清潔な状態にしておく。



5. 特別清掃 ※長期休業ごと（2～4カ月ごと）に行う清掃

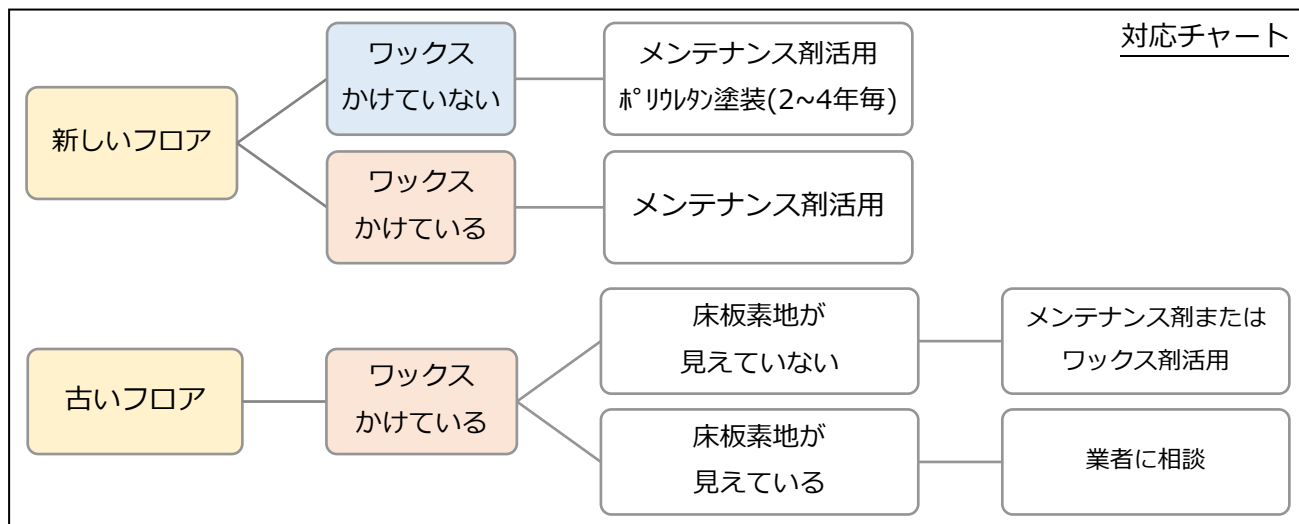
(1) 日常清掃で取り切れない汚れを取る

綺麗なモップまたはダスターモップ等で入念に拭き掃除を行う。下記の表を参考に汚れを落とす。※日常清掃においても、汚れはすぐに取り除く

汚れの種類	処置
ジュース、清涼飲料水、汗、血液	できるだけ早くモップや雑巾で拭きとる。取りにくいときは中性洗剤をスポンジにつけて拭き、硬く絞った布等で拭く。
チューインガム	バテナイフのようなもので取り除いた後、溶剤タイプのクリーナーで拭きとる。
ラインテープの糊	ベンジンまたは溶剤タイプのクリーナーを布にしみこませて拭き取る。 ※ラッカーシンナーなど溶解性の強い溶剤は使用しない。
油、化粧品	中性洗剤を利用。時間が経過していればアルカリ洗剤・溶剤クリーナーを利用。
シューズ跡	専用のクリーナーを使用。消しゴム等で削り取らない。

(2) 薬剤を利用したメンテナンス

ダスターモップを利用し、ワックスがけ禁止に対応したメンテナンス剤を塗布する。コストが高くメンテナンス剤を塗布できない場合は、綺麗なモップとホコリ・滑り止め剤を利用し、繰り返しモップがけを行う。対応チャート参照し、やむを得ずワックスを利用する場合は、指定の溶剤を使用する。



(3) モップの交換・洗濯、フロアマットの清掃

モップとフロアマットの洗濯・クリーニングまたは交換を行う。使用頻度の高い中学校のフロアは月1回交換またはリースでの管理が望ましい。

6. 適切な清掃道具

(1) 体育館用モップ（乾拭き用）

日常清掃に使用。巾 900 mm程度(600~1200 mm)の艶出し剤を含まないもの。柄とモップ部分が固定されているものが望ましく、ホールモップ(主に黄色のモップ)は適さない。

(2) ダスターモップ・ダスタークロス

日常清掃(毛足の長いモップクロス)、特別清掃時のメンテナンス剤塗布(厚手のクロス)に使用。

(3) 掃除機 または ほうき・塵取り

ゴミの廃棄は、感染症対策のためできる限り掃除機を利用する。

(4) メンテナンス剤

ホコリ・滑り止めコンディショナー剤を含むワックス成分を含まないもの。溶剤にあった適切な方法で利用する。

(5) ワックス剤 ※該当校のみ

どうしても塗布しなければいけない理由がある場合に限り、各施設に適したワックス剤使用する。※中学校体育館については、生徒の競技利用が多いため安易にワックス剤を塗布しないこと。

おわりに

正しい知識のもと、日頃から体育館使用者と施設管理者の双方が適切に維持管理に取り組むことで、安全に楽しくスポーツが実践できるように、本マニュアルをご参考くださるようお願いいたします。



高岡市